



変わる! 岡山の教育

～学習指導要領の改訂～

グローバル化の進展、人工知能の進化などにより、子どもたちの将来は予測困難な時代になると言われており、これからの教育には、様々な変化に向き合い、他者と協働して課題を解決したり、社会の成長につながる新たな価値を見出すことができる人材の育成が求められます。こうした状況を踏まえ、新しい学習指導要領が小学校では、平成32年(2020年)度から、中学校では平成33年(2021年)度から本格実施となります。また、高等学校の新しい学習指導要領も、平成34年(2022年)度から実施される予定です。新しい学習指導要領では、これまで学校教育で目指してきた知徳体のバランスのとれた生

きる力の育成を継続するとともに、知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成、学びに向かう力・人間性の涵養^{かんよう}を重視し、未来社会を切り開くための資質能力を育むとされています。具体的には、小中学校の道徳の教科化や、小学校英語の教科化、プログラミング教育の導入、「アクティブ・ラーニング」(主体的・対話的で深い学び)の視点から学習過程を改善すること等が示されています。県教委においても、新しい学習指導要領を踏まえた実践が確実に行われ、子どもたちが未来の創り手となる力を身に付けていくことができるよう、学校や先生方を支援していきたいと考えています。